がん種　悪性軟部腫瘍

レジメン名　ＤＸＲ単剤療法

番号	薬剤名	投与量	投与方法	投与時間	備考	投与日									
						1	2	3	4	5	6	7	…	…	21
1	生食注シリンジ	10mL	静注		投与前フラッシュ用	○									
2	生理食塩液	250mL	点滴静注		ルートキープ用	○									
3	アロキシ点滴静注バッグ	1袋	点滴静注側管	15分		○									
	デキサート注射液1.65mg	6管													
4	生理食塩液	50mL	急速静注	全開		○									
	アドリアシン注	75mg/㎡													
5	生食注シリンジ	10mL	静注		抗がん剤終了後ロック用	○									
6	デカドロン４mg	2錠分1	内服	朝食後			○	○							

1コース期間
（次のコースまでの標準期間）　21日

総コース数　6コース

休薬規定及び減量規定、中止基準

＜ドキソルビシン：肝機能低下症例に対する減量の目安＞

T-Bil(mg/dL)	or	AST(IU/L)	DXR投与量
1.5～3.0	or	60～180	50%減量
3.1～5.0	or	＞180	75%減量
＞5.0			中止

または

T-Bil(mg/dL)	DXR投与量
1.2～3.0	50%減量
3.1～5.0	75%減量
＞5.0	中止

Grade2以上の有害事象で減量あるいは休薬を考

●血液毒性

	／mm³
白血球数	＜3,000
好中球数	＜1,500
血小板数	＜75,000
	g／dL
ヘモグロビン	＜10.0

その他

心毒性に留意し総投与量はドキソルビシン塩酸塩として500mg(力価)/㎡以下とする。血管外漏出注意。